

日没前後の交通事故死 9月以降に大幅増加

平成28年度 秋の全国交通安全運動

平成28年9月21日(水)～9月30日(金)

- 夕暮れ時と夜間の歩行中、自転車乗車中の交通事故防止
- 子どもと高齢者の交通事故防止
- 飲酒運転の根絶

札幌 大型ダンプが、『赤信号』を無視して交差点に進入 ワゴン車と衝突、炎上、後部座席の男性死亡

(2016/09/26 19:42)

26日午前5時すぎ、札幌市豊平区月寒の消防署の目の前で大型ダンプとワゴン車が出合い頭に衝突。この事故で、ワゴン車の後部座席に乗っていた男性(19)が死亡し、運転していた男性(41)が重傷。警察は大型ダンプの運転手の男性容疑者(40)を、過失運転致死の疑いで逮捕。容疑者は「自分の信号が赤だった」と容疑を認めているという。警察は、容疑者がなぜ信号無視をしたのか、事故の経緯について詳しく調べている。

札幌の市道交差点 乗用車同士 出合い頭に衝突… 1台横転し2人軽傷

2016年9月26日(月)14時45分

26日午前9時すぎ、札幌市東区北17条東3丁目の市道交差点で、乗用車同士が出合い頭に衝突する事故がありました。この事故で1台が横転するなどし、双方の車を運転していた2人が軽傷だということです。

交差点進入時は…

- ①あわてて行動しない
- ②交差点には、必ず「人」や「自転車」や「車」がいる
- ③相手は、「避けない」、「止まらない」…かもしれない

交差点では、信号の変わり目の…「見切り発車」、「後追い行動」は危険です

交差点 信号が、「青」に変わった！ チョット待て！ もう一度、安全確認しよう

バックは、『カメが歩くスピードの気持ちで！』

まさか！…のことが起こらないように、
車が動いているときは、いかなる場合も 常に、100%運転に集中しましょう

信号のない場所 横断歩道に歩行者

「止まらない」一時停止しない車が90%

大部分のドライバーが歩行者優先のルールを守らず、道路交通法に違反する行為が横行

道交法は、横断歩道を渡ろうとする歩行者がいる際、
横断歩道の直前で車を一時停止させ、通行を妨げないよう義務付け

2016年9月26日(月)22時28分

信号のない場所で横断歩道を渡ろうとする歩行者がいても、9割以上の車が一時停止していないことが26日、日本自動車連盟(JAF)が公表した自動車運転に関する全国調査の結果でわかった。大部分のドライバーが歩行者優先のルールを守らず、道路交通法に違反する行為が横行している実態が明らかになった。

調査は8月15日～9月1日、全国47都道府県の計94カ所で行った。平日午前10時～午後4時の間に、片側1車線の道路上に信号機が設置されていない横断歩道でJAF職員が横断を試みた。この結果、通過した乗用車と自家用トラックの計1万26台のうち、歩行者が渡ろうとしている場面で一時停止したのは757台と全体の7.6%のみ。調査した94カ所のうち48カ所では、止まった車が5%未満だった。

道交法は、横断歩道を渡ろうとする歩行者がいる際、横断歩道の直前で車を一時停止させ、通行を妨げないよう義務付けている。違反者には3カ月以下の懲役か5万円以下の罰金が科される。現実には取り締まりはほとんどなく、歩行者が車に道を譲ることで事故を防いでいる状態だ。全日本交通安全協会の幹部は「横断するのが子どもやお年寄りでも車はほとんど止まらないだろう。警察官が張りついて取り締まるのは難しく、運転者の良識に任せざるを得ない面がある」と、お手上げ気味。JAFの担当者は「運転免許取得時に必ず習うはずなのに忘れてしまうのか、道交法違反の認識がない可能性がある。今後のキャンペーンで啓発活動に取り組みたい」と話した。

JAFは今回の調査に先立ち、6月にインターネットで全国アンケートを実施。「信号機のない横断歩道を歩行者が渡ろうとしているのに、一時停止しない車が多いと思う」との回答が86%に上っていたことから、初の実態調査に乗り出した。

突き出た積荷のトタン板でまた首切り事故、年配女性が死亡

2016/09/27 06:28

ベトナムで25日14時頃、歩道でバスを待っていた女性(64)が、橋を走行していた荷車から突き出たトタン板で首を切られ死亡するという痛ましい事故が発生した。この荷車は、荷台をバイクで牽引する形の改造車。事故発生時、橋を渡る上り道の途中で荷台がバイクから外れて橋を下ってしまい、歩道でバスを待っていた女性は逃げ遅れ、荷台が積んでいたトタン板で首を切られた。女性は大量に出血し、病院へ搬送されて集中治療を受けたが1時間後に死亡が確認された。